



2010年度神戸地区のテーマ  
「共同体を育てよう」

## 木の価値

赤波江 豊神父

中国の道教にこんなたとえ話があります。ある大きな節くれだった樫の木を前にして大工の棟梁が弟子に質問しました。

「お前はこの樫の木がどうしてこんなに大きな木に成長したか分かるか」  
弟子はしばらく見上げて考えていましたが「分かりません」と答えました。棟梁は言いました。

「この木がな、こんなに大きな木になったのはこの木が役に立たない木だったからじゃ。もし役に立つ木だったならとっくの昔に切り倒されて机や椅子になっていたことであろう。この木は役に立たない木だったからこそ、こんなに大きな木に成長して、今ではこうやってこの木の下で多くの人を憩わせることができるのじゃ」

この短いたとえ話は木の本当の価値というものを、そして人間の真の価値というものを見事に表現しています。例えば建材として役に立つ杉や檜ばかりを山に植林すると、それらの木は根が浅いので山崩れを起こしやすく、また杉や檜の山は植生が育たず弊害もあると聞きます。近くの六甲山の木々を見てください。実際一見して役に立たない木ばかりです。建材にもならない、実をつけても食べられない。しかしそのような木々が深く根を張り、落葉してしっかり地中の水を貯え、やがて私たちにおいしい水を供給し、またそのような山には餌を求めて多くの動物が集まり生態系を豊にするのです。木の価値は一見して役に立たなくても、一本一本そこに存在してこの大地に潤いと豊さを与えることにあるのです。

人間もまったく同じです。役に立つ人間を育てること、能力、技術を向上させることだけに集中するなら必ず人間どこかに歪が出てくるでしょう。お互い一人一人を見つめたならば、人間の真の価値は何をするかにあるのではなく、存在そのものにあることが自ずと見えてくるでしょう。親はたしかに子どもが小さいうちは子どもの将来を心配してあれこれ口うるさく言いますが、最終的に子どもへの思いは「出来の悪い子でも、勉強できなくてもいい、お前がいてくれるだけでいいんだよ」の一言につきます。子どもの母親への最終的な思いは「美人でなくてもいい、料理が下手でもいい、やさしかったらそれでいいんだよ」父親への最終的な思いは「仕事ができなくても、給料が安くてもいい、守ってくれたらそれでいいんだよ」そうやってみんな一緒にいてくれるからお互い安心して生きてられる。家庭でも社会でも、そして教会でも。

淡い新緑の六甲山を見ながらそう思う毎日です。

### 教会維持費について

いつも教会維持費へのご協力有難うございます。教会維持費制度は日本の教会固有の信徒の奉仕です。対象は成人以上で収入のある方です。不況等で困難な方もおられるとは思いますが、教会共同体を支え育てるため可能な限りのご協力をお願いいたします。 神に感謝

赤波江 豊神父

## 2011年4月度 カトリック住吉教会評議会議事録

日 時：2011年4月3日(日) 11:00 ～ 12:50

場 所：第2会議室

出席者：赤波江神父、他評議会メンバー14名

はじめの祈り：赤波江神父

赤波江神父：

今日のミサでも話したように大震災はまだ暗中模索の状態で被害状況もはっきりしていないまま一体いつまでかかるんだろう、どうなるのだろうかと重い心になってしまいます。

16年前の神戸の未曾有の大災害から私たちのうちに思いやりの心が生まれ、ひとりひとりに愛の力を賜物として与えられました。同じ様にこの度の未曾有の大災害からも想像のつかなかった思いやりの心が生まれています。まさに愛の力を見出す賜物が与えられていると思います。平穏無事な毎日の中で今、神様ご自身が困難を前にして普段気がつかなかった思いやりの心、気遣う心、助け合う心をはぐくませてくださいます様これから力を合わせていきたいと思います。今震災に対して何ができるか、教区の指示を仰ぐ前に話し合いによって何かできるのではないかと気づかなかった信仰のヒントが生まれることを期待しております。よろしくをお願いします。

### 議題

#### 1. 東日本大震災 住吉教会、我々に何ができるか。

① 第1議題として、我々に何ができるか、何をなすべきかについて全員討議した。

司祭、全評議員が各自意見表明した。概略下記(一部意見記載)

- Fr：先日京都に出かけて行った時にお寺の庇の前に大きなスローガンみたいなのが出ているのを見ました。教会でも聖堂の中か教会の入り口のところで垂れ幕みたいな何かそんなものを掛けてみてはどうでしょうか。
- 議長：現地支援は難しいが心で祈ることから始める。物資支援の参加、義捐金など長期自主的に月定献金のように続けて行ってはどうか。
- 私たちの経験を生かしてやっぱり義捐金からはじめることでしょうか。何か心を込めてできることはみんなです。
- 大阪教区司教から呼びかけの「震災のための祈り」を“ロザリオ”の時(先唱者が)にまた“共同祈願”のときは全員でこれからも続けてゆく。主旨を唱えて入れる。
- 今年のバザーの目標は手作りの品を送ることにしてはどうか。地域を決めて定期的にする。一般の人に向かって何ができるか考える。教会前の道路上の掲示板には今にふさわしい言葉を載せている。
- 議長まとめ：教会としての祈り、心を伝える。評議会継続テーマとして検討する。

② 東日本支援の長期月定献金(自主献金)袋の採用検討  
義捐金との兼ね合わせを考える。(継続審議)

③ 献金箱の常時設置(日が経つと忘れがちになる)。信徒に呼びかける。  
月1回募金箱を持って立つ等。

④ 義捐金、物資支援、現地支援(ボランティア)等支援  
第1回支援としてカリタスジャパンに義捐金を送付した。

⑤ 教区、カリタスジャパン方針も考慮し、判断、実施する。

## 2. 2011 年度評議会運営体制

- ① 役員、評議員等確認(役員選挙結果確認、評議員交替等)別紙参照。  
3/13 選挙の結果、神父様承認済。
- ② 4月17日(日)小教区総会以降、新体制稼働

## 3. 報告事項

- ① 山本新助祭叙階式、住吉祝、滞在期間 3/13～3月31日終了
- ② ベトナム神学生受入れ、4/4(月)に変更。費用、準備完了。
- ③ 教会、幼稚園、施設補修工事概要。クラック、ペンキ、EJ。
- ④ その他。

## 4. 審議事項

- ① バイブルハウス支援テレマン・コンサート、教会一部援助の件。承認。
- ② 聖週間典礼準備。受難(枝)の主日、受洗者数、日時確認等。
- ③ 4月17日(日)小教区総会準備、進行(ミサ中新役員紹介)
- ④ 5月29日(日)典礼、住吉受堅信者人数報告→神戸中央教会副議長宛
- ⑤ 6月5日(日)神戸地区大会。準備、「小教区紹介」作成。
- ⑥ 住吉小教区評議会、修道者参加依頼。  
小教区評議会規約に基づき修道者(Sr.)参加の依頼を考慮。
- ⑦ 各チーム長、報告—提案。

松谷園長:4/11 始園式・4/12 入園式の為聖堂借用願い提出。

Tj: 今年は宣教のメンバーを増やし活動を広めたいので募集する。

Nb: 4/17 住吉教会・神戸中央教会とで中高生の共同新入生歓迎会(神戸中央教会)

Kh: 4/16 合同監査(三田・神戸中央・住吉教会)

4/17 小教区評議会(信徒総会)で会計報告

Ng: 4/16 教会学校始業式

Tk: 印刷機1年間使用料契約と保守契約を続ける。

施設管理として十字架の見積を出し設置に関し評議会と信徒全員の意見聴取を検討。

・終わりの祈り: 赤波江神父

以上